



知事が行く!  
突撃取材! Part2  
～三重のひと～

第12回 ～大切なのは信頼～

# 人と動物の絆をサポートする インストラクター

## インタビュー詳細版

(聞き手)

三重県知事 鈴木 英敬

(お話いただいた方)

鈴鹿大学短期大学部

やまこし てつ お  
助教 山越 哲生さん



やまこし てつ お  
山越 哲生さん

**知事：**県では、次の動物愛護管理推進計画の期間である平成35年度までに、犬・猫の殺処分ゼロをめざしています。山越先生は、私たちが動物たちと共生していくために一番大切なことは何だと思いますか。

**山越：**県でも意識調査をされていますが、今までの調査で分かっていることは、海外では犬を飼っている人たちに、多くの方が好印象を持っているのに対し、日本では犬を飼っている人たちへの評判がだいぶ悪いんです。

**知事：**そうなんですか。

**山越：**その理由の一つが飼い主のマナーですね。それと、正しい知識を持っていないので、誤解が生じているようにも思います。人と動物が共生していくためには、正しい情報を皆さんに知っていただくことが大事なんじゃないかなと思います。

**知事：**実際にトレーニング方法などを見せていただいて、犬の適応能力の高さなど正しい情報を知ることが大切だと、あらためて感じました。先生は人と動物が幸せに暮らすために精力的に活動されていますが、インストラクターとしての喜びや、やりがいを、どういうときに感じますか。

**山越：**最近は保健所も、ペットを手放そうとする飼い主に「もう少し頑張って飼ってみ



犬のトレーニングを学生に指導する山越先生

て]と話していただけるようになりました。しかし、飼い主にきちんとした知識がなければどうしようもない。そこで、お手伝いをするが増えてきました。犬を手放そうと考えていた飼い主の方に、犬をトレーニングすることで問題行動をしないようになることを理解していただけたときに喜びを感じます。飼い主も犬もリードの両端です。どちらにとっても幸せにつながる事が大事ですね。

**知事：**心に残っているエピソードなどはありますか。

**山越：**人にかみつくなど、犬の問題行動が続くと気がめいりますね。それに日々向き合わなければならぬと、しんどくなってきます。ところが、トレーニングで関係がうまくいくようになると生活が変わります。そうすると犬の顔も飼い主の顔も変わるんですね。

**知事：**犬の顔も変わるんですか。

**山越：**変わりますね。いつも同じ顔をしているように見えますが、目がすごく優しくなります。かむ犬や、周りを困らせる犬はストレスを抱えています。そのストレスを解消するアドバイスをさせてただけで、変わります。

**知事：**犬の顔が変わる…いい話ですね。では、これから動物を飼おうかと迷っている人や、飼っているものの犬の行動に悩んでいる人にアドバイスをお願いします。

**山越：**悩んだときは、手助けしてくれる人やプロに相談してください。いろいろなやり方がありますので、話を聞いてみて、自分のやり方と合えば、ぜひ試してみてください。また、5月に津市内にオープン予定の三重県動物愛護推進センター「あすまいる」も相談先となつていただけるとありがたいですね。「あすまいる」では、ボランティアの皆さんにもお手伝いいただけると聞いていますし、私も正しい情報をお伝えしていきたいなと思っています。

今、犬を飼っている人たちは、自分でトレーニングができるようになると思います。そういう希望を持っていただければいいなと思っています。

**知事：**子育ての悩みが家族ごとに違うように、ペットの悩みもそれぞれに異なります。子育ての悩みを相談する場があるように、「あすまいる」も、そんな役割を担っていければと考えています。

では最後に、先生のこれからの夢を聞かせてください。

**山越：**昔から思っているんですが、車の免許のように、犬を飼う人にもライセンスがあれば



先生の授業では、犬を飼われている地域の方も協力しています。



トレーニングの様子を見学

いいと考えています。ライセンス制度があると、犬を飼う前に正しい知識を身に付けることができ、飼ったその日から正しく接することができます。そのような制度が普及し、一般的に広く知識を持つようになると、今度はライセンスがなくても、みんなが正しい接し方ができる世の中になるはずで、それが一番だと思います。



災害時、ハウスに收容される犬にストレスを感じさせない練習。練習後は、自分から喜んで入ります。

**知事：**なるほど。我流で飼うのではなく、動物との共生について正しく理解するために、一時的にライセンスも必要じゃないかということですね。

**山越：**我流でも、飼い主も犬も楽しく暮らせていればいいのですが、そうでない場合が困ります。きちんとした知識を持っていただければ、近所からクレームが来ることもなくなります。

**知事：**なるほど。今日は大変、有意義でした。勉強させていただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。



※インタビューの内容は、読みやすさの観点から一部要約等を行っています。  
※記載内容、写真の無断転載を禁じます。  
※内容に関するご意見・お問い合わせは、三重県戦略企画部広聴広報課まで

〒514-8570 三重県津市広明町13  
☎ 059・224・2788 FAX 059・224・2032  
E-mail koho@pref.mie.jp